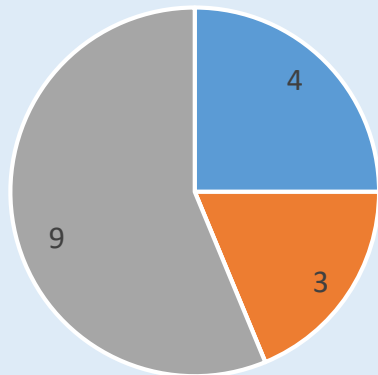


地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの主な意見（区西南部）

地域医療連携システムの導入状況



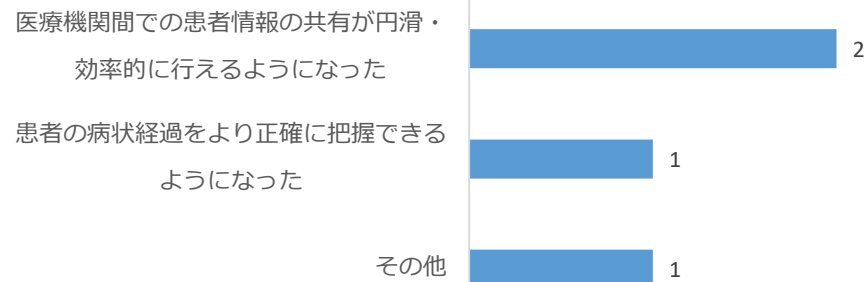
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	1	0
急性期/サブアキュート	8	2
回復期/ポストアキュート	1	1
慢性期	2	0
ケアミックス（急性期・回復期）	1	1
ケアミックス（回復期・慢性期）	1	0
その他	2	0
計	16	4

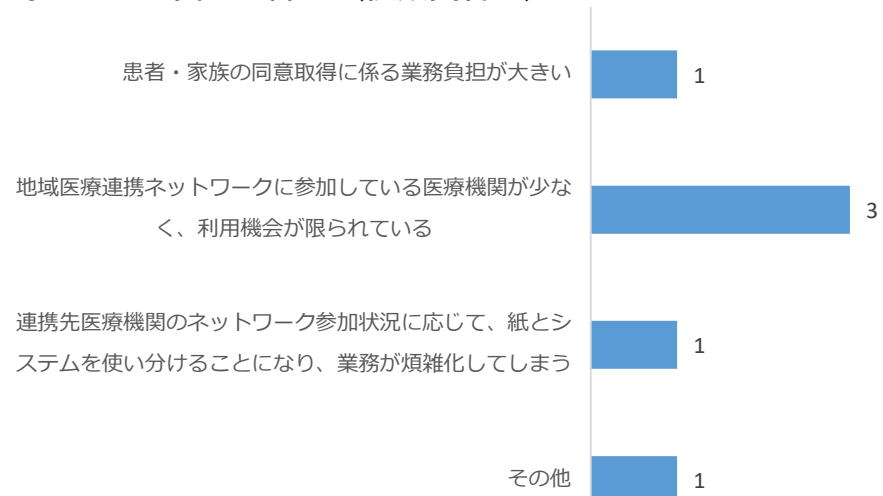
■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



その他
・医療機関別等の紹介・逆紹介の統計

導入や運用面での課題（複数回答可）



その他
・電子カルテと連携できておらず事務作業が重複する

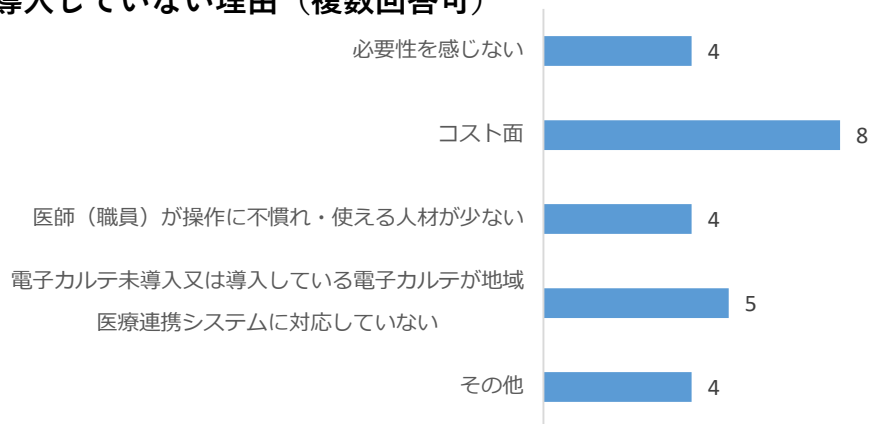
事前アンケートの主な意見（区西南部）

■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・診療情報提供書のFAX送付、郵送
- ・電話、Webカンファレンス
- ・連携アプリを利用して診療情報をやり取り
- ・対面またはZoomでの連携会議

導入していない理由（複数回答可）



その他

- ・現在、境界型セキュリティを採用しており、外部との接続が必要なシステムの導入は原則として行わない方針であるため
- ・精神科の医療機関の参加が少なく利用機会が限られる
- ・東京総合医療ネットワークに参入して、WEBから閲覧のみ可能なシステムを導入予定

どのような点が改善されれば導入するか

- ・電子カルテの導入と端末整備
- ・コスト面の低下、導入医療機関の増加
- ・セキュリティ面の担保
- ・病院職員（特に医師）の納得・理解。
- ・全ての医療機関が強制参加するのであれば検討したいが、医療機関の連携有無で運用が変わるのは望まない。
- ・当院で使用しているシステムと連動が出来ること

■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

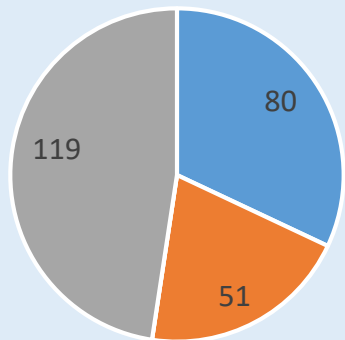
- ・医療機関にお金がかからないようにする。連携するメインはクリニックや小さな病院がメインなので、そういった施設の意見を取り入れて行く。東京都が考えなしに独断ではやらない。
- ・複数のベンダーによるそれぞれの形式ではなく、統一した書式での運用
- ・地域医療連携を見据えた電子カルテシステムは導入をした。連携することで、情報共有や、提供スピードなど、メリットは多い。半面情報漏洩のデメリットの対策が課題
- ・患者の医療情報を異なる医療機関間でも共有する
- ・ICTを活用し、患者情報や電子処方箋を医療機関間で共有することで、患者の診療情報や薬剤情報等がスムーズに連携され、限られた医療資源を効率的に活用し、質の高い医療を提供できるようになること。
- ・職員個人に持たせる端末を整備し、IDでホストから指定された職員がネットワーク権限をワンタイムで使用出来る事など
- ・各医療機関でシステムを導入し同様の運用を開始する
- ・タイムリーかつ正確に病態を共有が可能であることから、早期の治療介入や検査・治療の重複を避けることもでき、効率的なケアにつながる
- ・地域医療機関間で患者情報を共有し転院、紹介、退院等、スムーズな情報提供が可能となり、継続的な治療・看護につながる
- ・遠隔での問診、相談
- ・個人情報との整理が必要
- ・患者さんの同意を紙面で取得するシステムが多いため、「マイナポータル」のように電子等で同意が簡易に取れると理想的

■ 地域医療構想に関する意見

- ・電話とFAXで連携を行っているが、時に画像データを必要とする場合、現行ではCD-ROMを郵送という方法しかない。今後、「東京総合医療ネットワーク」参入により、入院前に画像閲覧が可能になるのは非常に有効と考える。是非、近隣（世田谷区、目黒区、渋谷区、新宿区など）医療機関のシステム導入が増えることに期待したい。
- ・緊急時や夜間の場合、患者さんの病歴、手術歴等を収集することに時間を要してしまうため、その点が簡易にかつ、セキュリティ担保がされると診療も迅速に行える。また、各病院のベッドの空き状況なども把握できると運用しやすい。

事前アンケートの主な意見（都全域）

地域医療連携システムの導入状況



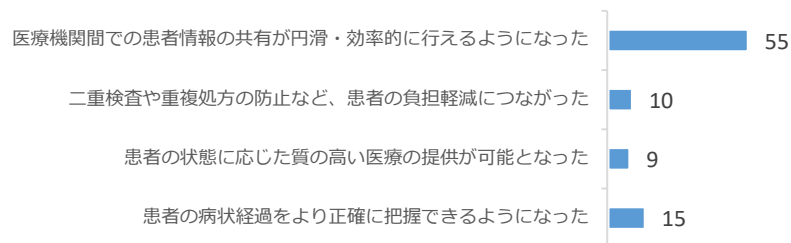
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

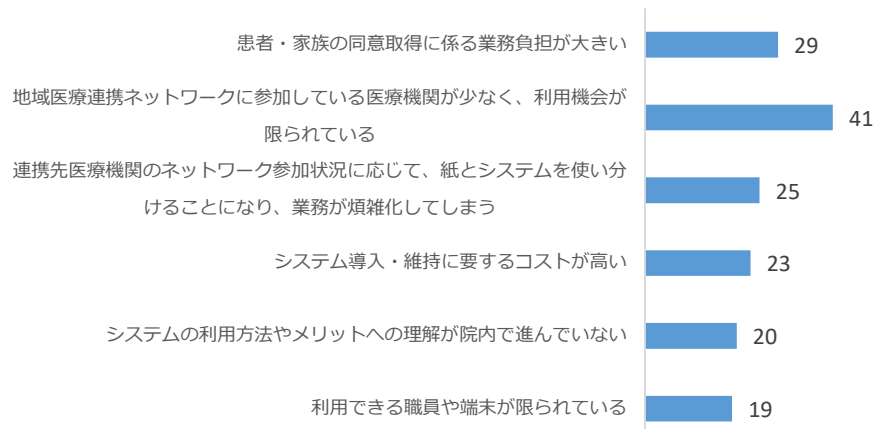
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	19
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	80

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

導入していない理由（複数回答可）

